

学校経営ビジョン 自信と誇り、高い志を持つ自立した経済人の育成を目指し、地域および県民の負託に応える学校の創造	[学校関係者評価のポイント]
本年度の重点目標 (1) 学力向上 普通教科、専門教科を問わず、授業を通して高い教養と専門性を身につけさせ、産業社会に貢献できる生徒の育成を目指す。 (2) 自律した品格ある生徒の育成 本校生徒としての誇りを持ち、言動に責任のある自律した品格のある生徒を育成する。 (3) 部活動を通して高い人間力を持つ生徒の育成 体育系部活動・文化系部活動とも、本校部活動の輝かしい歴史を継承するとともに、さらに高い目標に挑戦する。競い合い、助け合い、学び合う中で、高い人間性、人間力を持つ生徒の育成を図る。 (4) 地域文化を担い、貢献できる生徒の育成 地域社会と積極的に様々な交流を行うことで、生徒の見識を広めさせ、社会性や公共心の育成を図る。	

4段階評価	4：期待以上	3：ほぼ期待通り	2：やや期待を下回る	1：改善を要する
-------	--------	----------	------------	----------

【学力向上】 普通教科・専門教科を問わず、授業を通して高い教養と専門性を身につけさせ、産業社会に貢献できる生徒の育成を目指す。					
評価項目	具体的方策 または 指標等	取組の成果と課題 および 改善策等	自己評価	学校関係者評価	学校関係者評価コメント
教材研究、研究授業、授業評価を推進し、教科として質の高い、魅力ある授業を構築する。	① 授業時数確保のため、積極的な授業振替および自習監督の配置を図る。 ② 年間指導計画の見直し改善を図る。 ③ 研究授業研修および授業評価を実施する。 ④ 新学習指導要領にあわせた教育課程を国や県の動向を確認しながら作成する。 ⑤ 校内ネットワークの保守管理を実施する。また、校務支援システムの活用を推進する。 ⑥ 主権者教育を実施する。	① 教諭の出張等時の授業対応として、事前に他の授業と振替を行い、自習を最小限にした。 ② 各種調査・年間指導計画・学校行事・職員研修等、滞りなく実施できた。 ③ 全教科、研究授業の実施を計画しているが、教科の人数の違いもあり、授業参観者に差がある。実施方法の検討が必要である。 ④ 新学習指導要領にあわせた教育課程については、国や県の方針の動向を注視し、作成していく。また、国の研究指定校となり、評価について研究を行うことで、授業改善を図る ⑤ 担当者を中心に管理を行った。また、校務支援システムについては、先生方が活用できるよう操作手順のプリントを配布し、活用を支援した。 ⑥ 主権者教育を計画的に実施した。3年生については、県知事選に投票するよう公報紙を配布した。	2	3	・授業の振替により効率よく授業を受けられる工夫がされている。 ・授業評価については、どのような評価基準をもって、どのように評価するのかを明確にすることで、より改善策が分かり易くなると考える。 ・本県の知事選の投票率は、非常に低い結果であったので、学生のうちから意識させることは、大変重要であると考えられる。 ・朝読書の時間を設ける事は、大変有意義である。
多様な進路に対応できる確かな学力を育成する。(基礎学力の向上と高度資格取得)	① 基礎学力診断テスト及び就職模擬テストを実施する。 ② 生徒の多様な進路に対応するため「ビルゲイツ課外」「公務員課外」を実施する。 ③ 進路指導便りの活用による学力向上意欲の喚起を図る。	① 4月に基礎学力診断テスト、9月に進路実力模試を実施し、この結果を比較検証し、職員研修会において全職員で共有した。 ② 運動部等の朝の自主練習等もあり、高度資格取得課外の申し込む状況が減少傾向である。来年度も講座の内容及び募集方法について検討する必要がある。 ③ ハローワーク便りについては、クラス掲示するなど最新の情報を発信した。	2	3	・進路指導にハローワーク便りをクラス掲示して、最新の情報をタイムリーに生徒が意識できる環境づくりにしたことは大変素晴らしいと思います。
生徒の自己学習力(自宅学習の在り方、考査前の自己学習の取組)を育成する。	① 朝の10分間読書による読書習慣の確立を図る。 ② 図書閲覧室および視聴覚室の利用促進を図る。 ③ 第2閲覧室の充実と利用促進を図る。	① 全クラスで静かに朝読書を行い、読書の習慣化につながった。 ② 「図書だより」で新着図書のご案内をしたり、「第1回本祭り」を開催したりするなど、貸出や来館者を増やす工夫をした。 ③ 図書館が教室から離れていることから、第2閲覧室の設置は、蔵書の利用者増につながった。	3	3	
高度資格取得を推進する。(各種検定への挑戦)	① 確認テストなどを実施し、各生徒の理解度を把握し指導を行う。日々課題・小テストの継続により学習の定着を図る。 ② 資格取得の重要性を説き、それに向けた計画的学習を意識させる。	① 上位資格は、学習内容が高度であり、生徒の理解度に大きな差が出てくることから、生徒の理解度を確認しながら進歩を進める必要がある。 ② 資格取得の重要性について、卒業後の就職進学に関連づけ、生徒に理解をさせることで、継続的に学習する意欲をもたせる。	2	4	・資格取得が目的でなく、将来の就職・進学に関連づけることで、学習意欲の向上にもつながり、進路を決定する際にも大変有利になると考える。 ・高度資格取得に努力することは立派である。資格取得を目標に達成感と向上心を養って欲しい。また、全ての生徒にその意欲・楽しみが広がるとよい。 ・都商は当初から企業巡見に参加するなど、学校全体での積極性がみられる。 ・キャリア教育も計画的に実施されており、教育環境は格段に向上していると思われる。
3年間を見通したキャリア教育を確立する。	① 生徒の企業巡見や職員の企業視察を実施する。 ② 県商業教育研究会と連携した面接指導や小論文対策を実施する。 ③ PDの時間(総合的な学習の時間)をキャリア教育に活用する。	① 職員の企業視察については、2学年の職員が中心となり、1人3社程度訪問し、企業実習の依頼を行った。 ② 他校の生徒と一緒に面接や小論文の指導を受けることで緊張感のある指導ができた。 ③ PDの時間を計画的に活用することで、生徒の進路に対する意識の変容が見られた。	3	3	
生徒全員の進路保障を実現する。	① 進路の確実な自己実現を後押しして、生徒の夢を実現させる。 ② 小論文・面接指導の徹底を図る。	① 全職員で生徒への面接指導を行うことで、生徒も複数の練習ができ、自信をもって面接試験に臨み、結果を残せた。 ② 大学入試等の小論文対策として、今年度より、受験生徒に担当の職員を配置し、きめ細やかな指導を行った。	3	3	

【自律した品格ある生徒の育成】 本校生徒として誇りを持ち、言動に責任ある自律した品格ある生徒を育成する。					
評価項目	具体的方策 または 指標等	取組の成果と課題 および 改善策等	自己評価	学校関係者評価	学校関係者評価コメント
元気な挨拶の励行を推進する。	① 校門指導を実施する。 ② 遅刻指導の充実を図る。	① 職員が毎朝校門付近であいさつ指導を行った。生徒の登校状況も良好で、校外での地域住民への挨拶にもつながった。 ② 遅刻や容儀違反がないよう、全職員での指導の徹底を図った。	3	3	・校内での生徒のあいさつがとても気持ち良い。 ・いじめ問題は、世間でも深刻な問題であるが、確実なアンケートの実施と指導により、その効果が期待される。 ・防災訓練は、大いに役立つと考えるので、今後もしっかり行ってください。
授業規律を遵守させる。	① 学年集会や全校集会の中でマナー指導を行うことにより、授業マナーの向上を図る。 ② 清掃活動の充実を図る。 ③ 清掃への取りかかりや取り組みの点検活動を実施する。	① 集会時には、無言集を促し、概ね良好であった。授業時の態度も良好であった。 ② 生徒の全員清掃を徹底するため、全職員の指導体制を継続して行った。 ③ 美化意識の向上を図るため、清掃担当者名がわかるよう清掃場所に掲示した。	3		
校則、交通法規、IT機器マナーなど遵法精神及び生命・人権尊重の精神を滋養する。	① あいさつ運動、校門指導や駐輪指導を実施する。 ② 防災訓練を通して、生命・人権尊重の精神を滋養させる。 ③ 人権学習の実施をとおして意識の向上を図る。 ④ 学年集会での服装容儀指導を実施する。 ⑤ インフルエンザ対策として窓を開ける習慣をつけさせる。	① 部活動生や生徒会の生徒が駐輪場の整理と整列を行った。校門でのあいさつ運動が定着した。生徒は熱心にあいさつ運動に取り組んだ。 ② 防災訓練では消防署から良好な評価をいただいた。 ③ 人権学習を各学年ごと計画的実施した。本年度は障がいのある方の講話実施し、人権について、生徒及び全職員で共通理解を図った。 ④ 服装容儀の指導を徹底することが出来た。 ⑤ 校内放送により、換気を促し、習慣づけることができた。	3		
積極的生徒指導の推進 (面接指導の強化、生徒理解の深化、教員間の連携、保護者との連携、啓発活動、問題行動の早期発見・解決)	① 問題行動を未然に防げるよう、集会等での講話を行う。 ② 教育相談アンケート・いじめ等アンケートの実施し、いじめ等の未然防止を図る。 ③ 健康維持・増進の継続的指導を実施する。	① 教育活動の節目ごとに、全校集会や学年集会において、講話を行った。 ② 6月と11月の教育相談週間、4月と1月にいじめ等アンケートの実施し、結果を受け指導を行った。 ③ 保健に関する調査統計を通して、健康維持・増進の継続的指導に役立った。	3		
生徒会、学科長会、部長・キャプテン会育成と自治意識を滋養する。	① 各部のキャプテンに対するAED講習会を実施する。 ② 部活動のキャプテン集会を実施する。 ③ 選挙年齢引き下げに伴う主権者教育を実施する。	① 2月に実施予定である。 ② 部活動の部長及びキャプテンを対象に集会を実施しリーダー育成を図った。 ③ 計画的に実施した。また、3学年においては、選挙への啓発活動をおこなった。	3		
生徒会を中心とした生徒主導の学校行事運営を推進する。	① 生徒会役員の立候補を促し、選挙を行う。 ② 文化祭の取組を通じて新しい文化の創造を図る。 ③ クラスマッチ、コマースウル都商(販売実習)の成功を目指す。	① 本物の選挙投票箱を利用した生徒役員選挙の投票を行い、生徒の自治意識が向上した。 ② 各クラスにおいて、生徒全員で取組、質の高い内容であった。 ③ クラスマッチ・販売実習ともに大成功であった。行事を経験することで、生徒は大いに成長した。	4		
3年生が2年生へ、2年生が1年生へと都商文化・伝統の継承を推進する。	① 学科長を核とした学科に対する帰属意識を高揚させる。 ② 環境美化委員会及び図書委員会を活性化させる。 ③ 公共図書館の利用マナー指導を行う。 ④ 公共物愛護と奉仕の精神の養成をする。	① 集会、学校行事等で学科長の活躍し、学科のまとまりが見られた。 ② 清掃活動の定期点検を行った。 ③ 図書館の利用マナーは、良好である。 ④ 公共物の利用状況は、良好である。	3		

【部活動を通して高い人間力を持つ生徒の育成】 体育系部活動・文化系部活動を問わず、本校部活動の輝かしい歴史を継承するとともに、さらに高い目標に挑戦する。競い合い、助け合い、学び合う中で、高い人間性、人間力を持つ生徒の育成を図る。					
評価項目	具体的方策 または 指標等	取組の成果と課題 および 改善策等	自己評価	学校関係者評価	学校関係者評価コメント
部活動生は勉学と部活動の両立を第一とする。	① 定期考査前の部活動の自粛を呼びかける。 ② 部活動に未加入の生徒の指導を行う。	① 定期考査前でも練習している部活動が見られた。 ② 部活動に加入していない生徒についても指導を丁寧に行なった。	2	3	・運動部は、以前から様々な実績を残し、文化部においても目覚ましい成長と結果を残している。その状況は、ホームページ上に校長先生の日記からも確認でき、生徒や保護者の励みにもつながっている。 ・なぜ、部活動をするのか、したいのか、生徒が自身に問うことが大切である。
全国高校総体や高文連大会で上位入賞を目指す。	① 部活動を全職員で協力して応援できる体制を作り、実績を残す。 ② 派遣委員会を定期的実施する。	① 運動部、文化部ともに県内大会で上位入賞し、全国・九州大会で実績を残した。 ② 週1回定期的に派遣委員会を実施した。	3		
生徒・保護者への部活動の教育的意義や目的を理解させ、健全な部活動を育成する。	① 企業への就職先及び大学等へも本校の部活動実績を広報に努める。 ② 各部活動の成績や写真をHPやPTA新聞に掲示し広報に努める。	① 学校案内パンフレットに部活動実績を掲載し、広報に努めた。 ② 本校ホームページに各種の実績を広報することが出来た。アクセス数は、前年度同様、増加傾向である。	3		
部活動を通しての高い人間性や人間力の育成指導目標とする。	① 高い部活動の加入率を背景として部活動を通して人間性を育成する。	① 部活動加入率(5月時点)は、95%であり、ほとんどの生徒が部に加入している。また、キャプテン集会を実施し、リーダー養成として、講話や指導を行った。	3		

【地域文化を担い、貢献できる生徒の育成】 地域社会と積極的に様々な交流を行うことで、生徒の見識を広めさせ、社会性や公共の育成を図る。

評価項目	具体的方策 または 指標等	取組の成果と課題 および 改善策等	自己 評価	学校 関係者 評価	学校関係者評価コメント
保護者・同窓会・地域社会との連携し信頼される学校を目指す。	① 朝のあいさつ運動と駐輪指導を実施する。 ② 自転車の施錠指導を実施する。 ③ 交通安全教室の実施で、交通事故ゼロを目指す。 ④ PTA総会やPTA活動への参加数を増やす。	① 毎朝、部活動生と生徒会の生徒が中心校門付近であいさつ、駐輪整理を行った。 ② 交通安全委員会を中心に、定期的な指導を行った。 ③ 交通事故については、昨年度より減少したが、日々の担任の指導及び交通安全教室の実施などで防止を図り、ゼロを目指す。 ④ PTA総会の出席率は約93.8%(二次集会含む)で多くの参加があった。夏は、PTAバレーを実施し、多くの保護者及び教職員が参加し、相互の親睦を図れた。	3		・生徒が指導を行うことで、自主的なあいさつや整理整頓の気持ちが芽生えるのではないかと思います。 ・都城商業高校は、市内のどの高校よりも地域連携が進んでいるのではないかと思います。その根拠は、コマースウル都商の支援者(協働者)や参加者も増え、地域活性化につながっているとと言えます。
地域の様々な行事や、ボランティア活動等に積極的に参加する。	① 都城市との連携を図り高校生の元気を地域の活力につなげる。 ② 地元開催の各種行事に積極的にかかわることで、地域を知る機会を持つ。 ③ コマースウルを都城市の文化として根付かせる。	① 都城市の協力により、販売実習を中心市街地Mallmallで実施することができた。また、青年会議所、高齢者クラブ、上長飯エンゼル児童館、花ふぶき一座との連携により、地域に貢献できた。 ② 地元企業と連携し、開発した商品を「ぼんちマルシェ」で販売し、好評を得た。 ③ 販売実習は、来客数も多く、「Mallmall来館者の100突破」により、市長より感謝状をいただいた。	4	4	・現代社会は、SNSやホームページなどネットワークが広報の有効な手段となっていますが、こまめな更新が行われなければ、その関心は離れていきます。そのような中、積極的な情報発信と「校長の都笑日記」はとても有効的であると思います。 ・郷土を愛する心を養うこと、市外県外に出て、初めてふる里の良さに気づくこともある。その為にも地域文化を体験する、地域の人と交流することは、人としての財産になると思います。
広報活動を通して、本校の教育活動状況を逐次発信し、中学校訪問の機会を増やすことで、中学3年生の都商進学希望者の増加に努める。	① 一日体験入学(中学3年向け)を実施する。 ② 中学校での高校説明会に参加する。 ③ 学校要覧作成する。 ④ 学校パンフレットの作成・HPの更新を行う。 ⑤ オープンスクール(中学2・3年向け)を開催する。 ⑥ 学校説明会(中学職員向け)を実施する。	① 体験入学は、生徒や職員の協力により滞りなく実施した。 ② 視覚的にわかりやすいプレゼンテーションを心がけ、管内中学校の全校に参加した。 ③ 年度当初、速やかに作成した。 ④ 学校案内パンフレットには、3年間の教育活動がわかるように作成した。HPは、毎日、更新し、本校の情報を積極的に発信した。 ⑤ 12月15日に実施した。 ⑥ 10月2日に実施した。	3		